

オキアミ類の1種 *Euphausia nana* の海面浮上群 および海岸への打ち上げ現象

花村 幸生*¹・神蘭 真人*²・片山 幸恵*²
(瀬戸内海区水産研究所*¹・豊前海研究所*²)

Surface Swarm and Shore Stranding of the Euphausiid *Euphausia nana* in the Seto Inland Sea, Japan

Yukihide HANAMURA*¹, Masato KAMIZONO*² and Sachie KATAYAMA*²

(National Research Institute of Fisheries and Environment of Inland Sea*¹・Buzenkai Laboratory*²)

瀬戸内水研報 3: 47- 51 (2001)

オキアミの1種 *Euphausia nana* の海面浮上群と、それに続く海岸への打ち上げ現象を初めて瀬戸内海で確認した。オキアミ浮上群は9.0~13.5mmの成熟個体で構成され、雄は十分に発達した精包を持ち、また雌の60%は交尾をしていたことから、この群は産卵群と考えられた。

浮上群の性比はほぼ等しかった。オキアミ個体のほとんどは空胃であり、海表面で索餌活動を行っていた形跡は認められなかった。環境データの時間変動とそのパターンから、瀬戸内海で確認されたオキアミ浮上群は豊後水道を起源とするものであると考えられた。